



不動産部門

感謝

ありがとう



2021年 麻田秀人より感謝申し上げます

皆様、お元気でしょうか！代表の息子の麻田秀人です！
 私は相変わらず元気でございます！そんな私、3号連続の登場であります！
 決して自立たちがり屋なわけではありません！
 自己顕示欲が少々強いだけでございます(笑)



私、身長が170cmで体重が63.5kgという標準的な体型なのですが、最近、お腹周りの肉付きが気になりだしまして、ちょっとしたダイエット的なことを始めました。走ったりトレーニングを始めるその前に、ケガとかしたらいけないと思い、まずは体重から落とそう、ということで食事制限を行い、4週間で約4kg減量しました。もちろん無理な制限ではありません。でも、工夫次第でできちゃうのです。もちろんここからトレーニング等をし、目的のお腹周りを引き締められて初めてゴールになりますから

まだ道半ばですが、少しお体のことが気になる方がいらっしゃいましたら、喜んでアドバイスさせていただきます！叱咤激励もサービス致します！
 「結果にコミット！」はコミットできませんのでご勘弁願います！



以前にもお伝えしたことがありますが、私も、不動産のお手伝いだけでなく、オフィスASADAの根幹である生命保険のお手伝いもさせていただいております。
 本年の2021年12月10日現在、自分が担当として保険のお手伝いをさせて頂いた件数は45件でした。お手伝いの機会をいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございます！
 そして今年お手伝いさせて頂いた方も含め、私が保険のお手伝いを始めたこの2年半の中でご加入頂いた方で、今年に保険の給付金の手続きをさせて頂いた方は4人いらっしゃいました。給付金のお手伝いをするのも、自分の大切な仕事だと思っております。そういう意味で、その給付金手続きに携われたこととても嬉しく思いますし、皆加入して良かった！と言ってきて、尚の事嬉しく感じております。

今後も益々、多くの方に喜んで頂けるよう、励んで参ります！

そして最後に、不動産部門からのご報告です。このコロナ渦においても、不動産の市況は活況であったと感じております。そんな中、本年私の方でお手伝いさせて頂いた方も数多くいらっしゃいました。

改めて感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

売却される方は何かしらの事情やきっかけがあってお売りになられます。買われる方もしかりで、ちょっとしたきっかけで動き始めるとします。ただいづれにせよ、売られる不動産をお買いになる方は、1人の方であります。買われる方の多くが、こちら1件の不動産であります。



本当にいろんな意味で一期一会の出会いだと感じております。
 そんな出会いの機会を自分は大切に、そして長いお付き合いをしていきたい、という想いと自負を持ってお手伝いしてきました。これからもそんな想いを持って不動産の仕事に携わらせていただく次第です。ご相談はいつでもお気軽に言って下さいね。すぐに飛んできますので！

改めて本年もありがとうございました！
 来年もまた宜しく願い申し上げます。



※ E-mail/ホームページのアドレスが変更になりました。ご確認お願い致します。

ASADA 通信

Vol. 93

2021年12月

今月のテーマ

- I ~速報~
 暦年贈与廃止の可能性と
 今後の生前贈与対策について
- II 「ファクターX」日本人の6割にある
 白血球の型がコロナに
 勝つ可能性が見えてきた！
- III 手遅れになる前に知ってほしい
 心筋梗塞と心のクセ
- IV 不動産部門 2021年ご挨拶

想いをのせて 感謝 ありがとう

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は2019年12月に中国湖北省武漢市の原因不明の肺炎の集団発生から始まり、世界的な流行となってしまい今年8月まで物凄い勢いで感染者が増えしてきました。先が見えない中、不安と焦りにも似た感情を持った人も多かったのではないのでしょうか。
 しかし、日本においてはワクチンの接種率が総人口の78%(2回接種)65才以上は92%と上がるにつれて感染者数も減少してきました。

このまま収束に向かうか心なしか期待したのですが「オミクロン新変異株」の出現です。もう慌てずに今までの生活を続けていく覚悟をするしかないと思います。人類の誕生とともに感染症との闘いの歴史が始まっていたのだから今が特別なのではない。先人たちはこのような中を生き抜いて来たのです。
 パストは中世ヨーロッパにおいて人口の3分の1が死亡した。パンデミックは何度も人類に襲いかかってきた。そして、多くの人類の命を奪ってきた。
 一方、18世紀以降ワクチンの開発や抗生物質の発見により感染症の予防、治療方法が飛躍的に進歩した。オミクロンについても既に「ゲノム」が分かっていると聞く。
 新しい年を迎えるにあたって次の人を紹介したいと思っています。そして、心強く新年を迎えていただきたいと思っています。その人の名は、**フランクリン・ルーズベルト**。
 米国の政治家であり、民主党出身の第32代大統領。世界大恐慌、第二次世界大戦の時の大統領であり、20世紀前半の国際政治における中心人物でもある。(しかも、アメリカ史上唯一の重度の身体障害を持つ大統領でもある。)
 この大恐慌で米国民が不安と恐怖の真只中の時、次の言葉を民衆にかけ、不安を一掃させたという名言です。
「我々の恐れなければならないのは、恐れることそのものである」
 私たちの心に刻み込んで新年を迎えましょう。
「必ず春はやってきます」一年間お読みいただきありがとうございました。

サラリーマン 川柳

プロポーズ あの日にかえって ことわりた

信頼と実績で皆様へ愛されて35年！
 生命保険・不動産の売却・買い取り すべてお任せください！



株式会社 ASADA
 オフィス

代表取締役 麻田 春江

住所：〒302-0015 茨城県取手市井野台1-7-28
 TEL：0297-72-2401 FAX：0297-72-6217

E-mail：info@officeasada.com
 URL：https://officeasada.com



I 暦年贈与廃止の可能性と 今後の生前贈与対策について

令和3年12月10日に「**令和4年度 税制改正大綱**」が発表された。

贈与税と相続税を一体化して、節税利用を抑制する相続税の課税強化が発表されるのではないかと？

暦年贈与が無くなるのか？それとも全て相続時に持ち戻すのか？は継続審議となり、来年以降に先送りとなった。具体的な内容及び施工日は明示されなかった。来年には廃止されるのか？それとも強化されるのか？今は不透明だが早めの対策も必要かと思う。

令和3年度の改正ポイント

～改正のポイント①～

住宅取得等資金贈与非課税枠を据え置き

2021年4月1日から非課税枠が減少することになっていたが改正より2021年12月31日まで同額で据え置きとなった。

今年も終わりになる。では2022年からはどうなる？

2022年3月～4月の国会で審議となり、このまま延長か廃止か、減額して延長か不透明である。特例の立法なので時限立法として期限を定めた立法である。しかし、廃止はないだろうと推測する。



良質な住宅

(省エネ・耐震住宅・バリアフリー 消費税10%) ⇒ 1,500万円まで非課税

上記以外 ⇒ 1,000万円まで非課税

一般住宅

(消費税10%) ⇒ 1,000万円まで非課税

上記以外 ⇒ 500万円まで非課税



所得金額 2000万円以下の人は床面積50～240㎡ 所得金額 1000万円以下の人は40～240㎡

～改正のポイント②～

教育資金贈与の特例の延長と相続税の課税強化

適用期限が**2023年3月31日まで2年延長された反面**
残額はすべて相続税の対象とする課税を強化されるものとなった。

- *教育資金を子どもや孫に一括贈与
- *非課税枠は1,500万円まで
- *受贈者の前年の合計所得金額が1,000万円以下
- *親や祖父母から30歳未満の子供や孫へ贈与のこと



～改正のポイント③～

結婚・子育て資金贈与の特例の延長と相続税の課税強化

非課税制度の適用期限を**2023年3月31日まで2年延長された反面**
孫やひ孫への贈与の場合は相続税2割加算対象に。

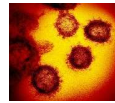


- ～対象となる結婚・子育て資金贈与～
- *2021年4月1日～2023年3月31日の間に結婚、子育て資金を子どもや孫に一括贈与
- *非課税枠は1,000万円まで
- *受贈者の前年の合計所得金額が1,000万円以下
- *年齢要件改正、18歳以上50歳未満対象



II 「ファクター-X」日本人の6割にある白血球の型が コロナに勝つ可能性が見えてきた！ 2021/12/10

日本人の約6割にある白血球の型「**HLA-A24**」を持つ人は、風邪の原因となる季節性コロナウイルスに対する免疫細胞が新型コロナウイルスの感染細胞も攻撃するという実験結果を理化学研究所のチームが発表した。英科学誌コミュニケーションズ・バイオロジーに論文が掲載された。



理研の藤井真一郎チームリーダーらは、日本人に多いA24を持つ人で、ウイルスに感染した細胞を排除する免疫細胞「**キラーT細胞**」の働きを調べた。

その結果、この型を持つ人のキラーT細胞は季節性コロナと新型コロナで共通する部分の分子に反応することがわかった。キラー細胞にはこうした特徴を記憶する働きがある。

過去に季節性コロナに感染した人が、新型コロナに感染すると、体内で眠っていたキラーT細胞が速やかに増え、感染細胞を排除している可能性があるという。



日本は海外に比べて新型コロナの感染者や死亡者が少ないとされ、「**ファクター-X**」と呼ばれる日本人特有の未知の要因が存在しているという指摘がある。藤井チームリーダーは「A24が**ファクター-X**の候補と考えられ治療薬の開発などに繋がるかもしれない」と話している。

欧米に比べ日本人に新型コロナウイルス感染が少ないのは日本人特有の**ファクター-X**が存在するからではないか。京大の山中伸弥教授が提唱しているその一端を、理化学研究所免疫細胞治療研究チームが先日公表した。人間の細胞には**ヒト白血球型抗原(HLA)**があり、**父母から遺伝する**。

河上裕 国際医療福祉大教授(免疫学)は、「季節性コロナに感染すると、キラーT細胞が新型コロナに対抗し得ることを示した。日本人の新型コロナウイルスに対する防御力の解明につながる可能性がある」と話す。「そうならばワクチンはしなくても良いのでは」とはとっておりません。ワクチンも大事です、勘違いしないで下さいね。

III 手遅れになる前に知ってほしい 心筋梗塞と心のクセ

適切な処置を行わないと後遺症が残ったり、死に至ったりすることもある「心筋梗塞」
そんな怖い病気なのに、なぜか発作を起こした人の半数がすぐに病院に行かなかったことが判明！
手遅れになる前に知ってほしい、命を守るための大切な情報をお伝えします。

発症後、何もしなければ24時間で3割が死亡。迅速な治療で95%は助かる。

心筋梗塞とは心臓の動脈に血液の塊(血栓)が詰まり、血液の流れが滞ってしまう病気です。一刻も早く治療しないと心臓の細胞が壊死してしまう事も有る為、治療せずに放置した場合、発症から24時間でなんと3割の人が死亡すると言われています。命をとりとめても、筋肉の一部が壊死してしまった心臓には後遺症(息切れ、だるさ、疲れやすさ)が残ります。だからこそ、一刻も早くを治療することが大切なのです。

誰もが持つ心の「クセ」『正常性バイアス』で「自分は大丈夫」と思い込んでしまう。

心筋梗塞経験者に聞いた ～病院に行かないワケ～

- * アイロンで押したような胸の痛み ⇒ 我慢できると思った
- * 槍で刺されたような胸の痛み ⇒ 休めば治ると思った
- * 胸と背中に痛み、顔面蒼白 ⇒ ゴルフ中だった
- * 胸に不快感 ⇒ 明日クリニックに行けばいい



この人たちは異常があったにもかかわらず何もしなかった。そして、自分は心筋梗塞になどならないと思い込んでいた。

人は危険が迫っても大丈夫と気づいてしまう。この考えが、人が持つ不思議な心の「クセ」なのです

「症状が治まったから病院に行かない」というのも危険。一旦痛みが消える場合もある。歯、あご、肩、腕などが痛い脳が勘違い?! “胸以外”に痛みを感じることもある！
心臓以外でも“命の危険”を感じたら心電図を！
血管が詰まった状態だと1分ごとに心筋細胞が死んでいきます。
発症後血流再開までの目安は2時間～4時間以内です。救急車を呼んで下さい。

